

TDB TEIKOKU NEWS *daily*

発行所: 株式会社 帝国データバンク

〈東京支社〉

〒160-0003 東京都新宿区本塩町22-8

TEL: 03-5919-9200(代 表)

TEL: 03-5919-9342(情報部)

e-mail: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

〈本 社〉

〒107-8680 東京都港区南青山2-5-20

TEL: 03-5775-3000(大代表)

URL: http://www.tdb.co.jp/

最新ニュースはここにアクセス

<http://www.tdb-news.com/>

7/18

2017

NO.14539

tue.

03- 特別企画

太陽光関連業者の倒産動向調査

08- 老舗社長インタビュー

株式会社ウドノ医機

代表取締役社長 鷺殿 直子 氏

10- 倒産・動向記事

東和産工	[塗装・防水工事]	(東京)
バル産業	[化粧品製造]	(神奈川)
サン流通	[貨物自動車運送]	(兵庫)
トラスト	[ゲームセンター運営]	(高知)

その他全国の倒産・動向

12- 記者日誌 〈3585〉

第一生命サラリーマン川柳コンクールより

13- 企業ZOOM UP 第832回

大協工産

—地震による横揺れ・縦揺れを感知して自動開錠する
スペアキー保管ボックス「防災BOX」

老舗社長

日本最初の滅菌装置開発

インタビュー

〈第2回〉

株式会社ウドノ医機

代表取締役社長 鵜殿 直子 氏

[1924年(大正13年)創業]



「滅菌装置」といえば、病院で治療・診療される際の各種医療機材の滅菌消毒に使用されるものがある。間接的にしろ(株)ウドノ医機の滅菌装置にお世話になっている読者も多いはずだ。「滅菌」が施される分野は、医療だけでなく研究や食品、各種産業と幅広い。3代目社長の鵜殿直子氏に話を伺った。

(聞き手/東京西支店 車 克成)

—貴社の事業内容について教えてください

弊社は、日本で初めて「滅菌装置」を製造した会社です。私の祖父である創業者の鵜殿廣久が帝国陸軍の野戦病院向けに納入しました。東京都浅草区、現在の台東区ですが、浅草小島町で創業した前年の1923年9月に関東大震災が発生しており、震災の記憶が生々しい時代でした。

祖父の製造した滅菌装置は移動式で、医療機関がない場所でも滅菌消毒が可能でしたので、随分と重宝されたようです。ただ、戦時中の資料が全く残っていないので、製造台数などが不明です。

—八王子に工場を設けた理由は

戦前の1940年に、国策で八王子市に移転してきました。2代目社長の文雄は市内の高校を卒業したこともあり、創業者の廣久が永眠した1976年に竣工し、現在も稼働中です。

—貴社の強みについて教えてください

弊社が専門を貫いていることでしょうか。2代目の文雄は「事業の多角化は手を抜くだけ」という考えでした。ただし、新しい技術の導入には積極的でした。1965年に日本初のリモートコント

ロールを導入しておりますし、1979年には国産初でコンピュータ制御装置を導入しています。いずれも作業従事者の安全性を高めるものです。1993年には世界で初めて全自動フロアカート式搬送(AGV)システムも開発しました。これで大幅な省力化と滅菌済み医療機材の再汚染を防止できるようになりました。

また、弊社は技術部門と営業部門とで相互に、社員を随時ローテーションしています。このことで、営業部門は顧客からの要望を的確に技術部門に伝えることができます。

さらに技術部門内でも、配管系、電気系、製缶系など分野間で1年に1度シフトしていきます。滅菌装置を設置する際に技術部門の人間を派遣しますが、1人で複数の分野が分かれば何人も派遣しなくて済むのでコストが抑えられます。また滅菌装置は最低でも10年間程度は使用されるので、設置後のメンテナンスも必要です。メンテナンスの時に1人で複数の分野を理解していれば、不具合に直ぐに対応できます。顧客満足度を高めるためにも、1人で複数の分野が分かることが必要なのです。本社から近いこともあり、私も週に2日間は工場勤務しています。

主要部品を日本製としていることも評価されています。東京都多摩地区を中心に、「ウドノアライアンス」と称する下請け協力会社が約120社ありますが、全ての社長様か所長様とお会いしています。

人手不足や採用難と言われていますが、弊社は比較的特殊な分野だからでしょうか「滅菌」について関心のある人の応募が常に有り、人材は粒ぞろいです。このことも強みの一つです。

一同族社長ということで、苦勞されたことはありますか

私は1986年の入社なのですが、子供の頃から父に「3代目はお前だ」と言われていましたので、覚悟はできていました。入社と相前後して親族には退社してもらい、内紛や派閥争いなど将来の禍根を断てたので、その点は非常に感謝しております。

入社後は製造、営業、経理などOJTで一通り勉強しました。専務取締役を経て代表取締役社長に就任したのが2010年2月です。

一経営していて最大の危機はなんでしたか

私がまだ専務だった2006年頃でしょうか。中国の「爆買い」でステンレス鋼材が高騰した時です。材料を手当てするタイミングを逸してしまいました。滅菌装置の主要部品の一つに「缶体」があるのですが、高温・高圧の負担がかかり、防蝕も必要で大変に重要な部品です。その主要材料の価格があっという間に2倍以上になったのだから大変でした。

この時、正直に社員へ会社の置かれている現状を説明しました。すると社員が一層奮励してくれたのです。会社経営には透明性が大事だと痛感しました。

一今後の方針は

海外への進出が課題です。信頼できる会社に弊社の代理店になってもらい、弊社の製品を販売してもらおうと思っていますが、徐々に進めていきます。

今は「他人に教えることの難しさ」を改めて感じています。「気づき」を大事にして、柔軟に経営していく所存です。



八王子楢原工場

鵜殿社長一問一答

一最近気になったニュースは
少子化全般です

一座右の銘は
動機善なりや、私心なかりしか

一休日の過ごし方は
美術館巡り。上野界限には良く行きます。鑑賞の対象は洋の東西を問いません。台北の故宮博物院は最高でしたが、一日では足りませんでした

一趣味は
愛犬の撮影です

会社プロフィール

株式会社ウドノ医機

(TDB企業コード：985062458)

本社：東京都八王子市元横山町2-1-9

電話：042-642-6301

代表取締役社長：鵜殿直子氏

創業：1924年8月

資本金：5000万円

事業内容：滅菌装置製造

年売上高：約22億7100万円（2016年8月期）

従業員：100名

<http://www.udono.com/>